

[回答様式]

都道府県名	Q1				Q2(1)				Q2(2)				Q2(3)				Q3(1)				Q3(2)				Q3(3)														
北海道	597	412	185	0	303	244	50	0	45	116	113	128	103	92	201	55	24	0	97	220	49	99	100	89	57	90	113	255	36	47	38	36	31	187	501	95	1	0	0
青森県	107	107	0	0	65	42	0	0	12	24	27	16	28	0	76	9	3	0	19	0	7	13	19	21	12	24	11	42	12	14	7	12	10	29	0	107	0	0	
岩手県	227	179	48	2	137	78	12	0	14	46	49	35	54	29	100	49	11	1	41	25	28	35	37	28	21	45	33	70	15	12	20	25	19	97	53	153	19	2	0
宮城県	190	190	0	0	124	66	0	0	14	34	53	51	38	0	121	34	2	0	32	1	11	28	38	28	20	59	6	107	16	17	29	21	17	20	0	128	56	5	1
秋田県	413	395	18	0	269	144	0	0	23	68	83	103	94	42	205	63	6	0	79	60	35	55	67	61	37	99	59	156	33	38	38	32	28	88	0	0	395	18	0
山形県	115	113	2	0	67	46	2	0	13	18	23	40	16	5	67	15	5	0	21	7	10	25	16	19	8	25	12	46	11	15	12	6	7	32	51	60	4	0	0
福島県	174	174	0	0	104	70	0	0	15	32	35	47	34	11	91	24	4	0	40	15	16	30	34	27	10	36	21	79	12	14	21	8	12	38	149	23	1	0	1
茨城県	131	131	0	0	85	46	0	0	15	24	25	47	20	0	75	22	8	0	26	0	6	17	21	20	13	51	3	60	20	18	19	11	16	27	5	114	12	0	0
栃木県	104	77	27	0	65	38	1	0	7	15	23	36	20	3	56	21	3	0	14	10	13	16	19	18	4	28	6	38	4	16	24	5	11	29	23	34	25	20	2
群馬県	90	69	21	0	63	26	1	0	10	28	15	19	16	2	69	9	3	0	7	2	6	18	19	13	5	24	5	47	10	11	7	8	9	14	18	65	7	0	0
埼玉県	200	197	3	3	124	76	200	0	13	42	42	49	50	4	125	17	10	0	38	10	16	19	42	23	14	47	39	66	7	25	20	7	13	68	3	197	0	0	0
千葉県	114	91	23	0	63	39	12	0	4	17	25	24	28	16	50	23	5	0	17	19	9	12	9	11	7	37	29	36	7	5	15	0	17	34	43	68	3	0	0
東京都	117	117	0	8	80	37	0	0	13	25	21	31	2	75	16	4	0	18	4	5	17	22	21	13	35	4	38	6	22	14	11	6	20	0	117	0	0	0	
神奈川県	94	94	0	1	61	33	0	0	9	13	18	15	19	20	42	9	6	0	14	23	4	9	15	11	8	20	27	37	0	13	11	6	21	53	0	94	0	0	0
新潟県	91	91	0	0	68	23	0	0	9	23	18	22	17	2	58	11	0	0	18	4	2	6	19	16	14	31	3	41	11	21	11	8	9	12	1	47	40	3	0
富山県	82	82	0	0	62	20	0	0	8	15	18	21	20	0	58	11	2	0	10	1	3	5	17	19	5	18	15	22	15	15	4	11	5	22	12	65	5	0	0
石川県	37	37	0	0	20	14	4	0	3	5	6	6	14	4	18	7	1	0	8	4	1	5	9	8	5	6	4	12	5	11	4	5	3	10	8	23	4	3	0
福井県	59	56	3	0	42	17	0	0	9	15	9	14	12	0	35	13	0	0	10	1	3	8	16	10	10	12	0	31	1	17	8	5	4	6	5	52	2	0	0
山梨県	48	34	14	0	37	11	0	0	3	9	11	13	8	4	30	10	1		5	2	4	9	2	7	4	18	4	15	2	14	4	0	7	18	5	41	2	0	0
長野県	106	103	3	0	64	42	0	0	7	20	32	22	25	0	69	20	1	0	16	0	7	12	21	21	13	32	0	53	17	5	11	14	10	10	6	74	24	1	1
岐阜県	56	38	18	1	44	12	0	0	4	16	16	7	13	0	38	8	3	0	7	0	3	10	16	5	6	10	6	22	8	12	8	7	8	8	19	37	0	0	0
静岡県	215	209	6	0	132	83	0	0	17	32	39	51	68	8	125	29	7	0	47	7	24	38	45	35	17	48	8	113	12	25	28	19	5	37	69	135	11	0	0
愛知県	214	120	94	7	137	75	2	0	21	33	44	47	38	31	133	26	7	0	34	14	17	34	41	33	20	35	34	80	12	37	24	7	17	71	78	95	7	0	34
三重県	73	73	0	0	46	27	0	0	3	17	18	17	17	1	42	12	10	0	9	0	1	3	12	21	8	28	0	14	18	15	15	0	11	0	10	52	9	2	0
滋賀県	27	27	0	1	20	7	0	0	2	12	4	5	4	0	11	7	1	0	8	0	2	4	8	5	3	5	0	12	3	6	2	1	3	6	4	18	5	0	0
京都府	5	5	0	0	3	2	0	0	0	2	0	1	2	0	2	1	0	0	2	0	0	1	1	0	1	2	0	4	1	0	2	0	2	0	0	4	1	0	0
大阪府	392	392	0	2	245	146	1	0	31	81	73	79	120	8	194	48	47	0	69	34	44	57	69	59	31	91	41	202	29	78	49	18	24	55	0	387	0	5	0
兵庫県	202	197	5	2	118	69	15	0	13	27	31	33	58	40	68	28	15	1	43	47	18	22	30	32	14	33	53	51	8	14	12	8	10	121	5	194	3	0	0
奈良県	98	98	0	0	70	28	0	0	3	20	14	23	38	0	46	21	5	0	24	2	7	10	16	22	12	26	5	36	7	14	24	12	6	20	41	56	1	0	0
和歌山県	81	81	0	0	43	31	7	0	4	10	15	12	25	15	32	17	3	1	16	12	9	7	14	13	3	26	9	34	1	8	13	9	6	14	35	44	2	0	0
鳥取県	132	109	23	2	73	59	0	0	9	16	18	25	32	32	52	20	2	0	33	25	8	13	25	10	7	42	27	49	11	7	15	15	19	53	23	109	0	0	0
島根県	44	29	15	0	28	19	0	1	6	9	8	7	11	5	18	8	2	0	11	5	2	8	10	7	4	7	7	14	4	7	4	7	2	15	20	22	2	0	0
岡山県	26	26	0	0	11	15	0	0	0	0	0	0	1	25	0	0	0	0	1	25	0	1	0	0	0	0	25	0	1	0	0	0	0	25	8	11	5	2	0
広島県	204	106	98	3	128	76	0	0	16	40	36	40	46	24	103	23	10	1	19	48	28	37	33	28	22	32	24	49	10	25	18	10	3	103	115	79	9	1	0
山口県	49	32	17	0	21	24	4	0	6	8	3	12	14	6	26	5	2	0	12	4	2	7	13	9	2	7	9	22	2	2	4	4	0	15	49	0	0	0	0
徳島県	70	70	0	0	45	25	0	0	4	9	19	16	21	1	30	16	3	0	18	3	11	12	14	4	1	25	3	30	10	15	12	7	9	19	30	39	1	0	0
香川県	52	52	0	0	29	23	0	0	6	8	9	15	14	0	34	7	1	0	9	1	3	13	10	8	4	14	0	25	5	4	8	2	3	5	0	16	30	6	0
愛媛県	134	134	0	1	76	58	0	0	15	35	31	27	26	0	82	24	2	0	23	3	4	13	27	23	15	40	12	56	9	15	19	12	3	20	43	87	4	0	0
高知県	123	71	52	0	65	57	1	0	3	25	18	38	23	16	55	25	5	0	26	12	7	16	19	15	8	40	18	52	8	15	16	10	14	44	55	55	11	0	2
福岡県	70	70	0	0	47	19	4	0	4	12	13	21	15	5	33	17	0	0	12	8	6	8	11	10	5	25	5	51	13	6	14	7	21	13	0	70	0	0	0
佐賀県	77	77	0	0	46	31	0	0	9	11	10	31	16	0	39	12	3	0	22	1	7	12	12	9	5	20	12	31	18	9	9	13	9	16	0	77	0	0	0
長崎県	16	16	0	0	12	4	0	0	1	0	3	2	3	7	5	5	0	0	4	2	3	2	3	4	0	4	0	6	2	1	3	5	1	5	13	3	0	0	0
熊本県	119	94	25	0	61	38	20	0	4	13	24	29	28	21	59	16	2	0	17	25	6	25	17	20	9	32	10	47	8	14	11	9	4	34	21	9	56	23	6
大分県	62	62	0	0	35	27	0	0	6	9	11	18	17	1	29	16	5	0	12	0	7	12	10	7	10	14	2	29	4	8	5	10	1	8	1	46	14	0	1
宮崎県	269	154	115	11	160	105	4	0	17	44	52	61	62	33	115	52	15	0	69	18	43	38	49	32															

「全国一斉多重債務者相談ウィーク」における相談状況 自由記述一覧

都道府県名	回 答
宮城県	無料相談会の開催や、相談窓口について金融庁から全国的に PR してほしかった。(多重債務に関する相談窓口の認知度が低い)
秋田県	相談ウィークの成果(到達点)と課題につき、本ウィークに参加した各機関を招き、都道府県協議会において検証することが必要と考えられる。
山形県	今回の無料相談会では、県内 13 市すべてを会場として実施したが、事前申込み電話の対応の中で地元(近隣自治体を含む)を嫌がる相談希望者もあり、「身近な自治体での相談」だけでは不十分であることがあらためて確認された。
福島県	開催市町村からは次回開催を望む声も多く概ね好評であったが、その際は法律専門家にも自治体職員の同席など相談会の趣旨が徹底されるよう配慮願う。
茨城県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司法書士会や弁護士会の相談会に不安を感じて来ない人のためにも、自治体主催の相談会は重要。</li> <li>・初の試みとしては良かったのではないかと。行政の無料相談は必要。広域なので、近くの市町村より来やすかった方がいたようだ。</li> <li>・多くの相談者は専門家を紹介してほしいと思っているので、地域ごとに債務整理を受任できる弁護士・司法書士の名簿を作成し、スムーズに紹介できるのが望ましいと思う。</li> <li>・消費生活相談員の一生懸命な対応が良かったと思う。場数をふめば、資料を見ながらでなく、ケースバイケースの対応が出来るのではないかと。</li> <li>・消費生活相談員にとって、弁護士や司法書士の解決方法を直接聞くことができ大変参考になった。</li> </ul>
埼玉県	広報については、国において、ポスターの作成、シンポジウムの開催など御尽力いただいたところですが、今後、同様に全国一斉の相談会を開催する場合は、新聞広告などにより、より一層の周知を図られるよう希望いたします。
東京都	国の相談窓口や国民生活センターを活用すればさらに効果的であったと思われる。
神奈川県	ホームページ上には、問い合わせ先電話番号のみの掲載としていただきたい

新潟県	一斉相談ウィークの設定時期が12月であったが、新潟県は冬場の天候が悪く、相談者(特に高齢者)によっては会場まで来るのが難しいため、今後同様のイベントを企画するのであれば、実施時期等も考慮してもらいたい。
石川県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多重債務者を法律専門家へ引き継ぐ機会を、通常より多く提供できたことは良かったと思う。</li> <li>・今後とも当市で実施している多重債務専門相談を通じて、より一層提供していきたい。</li> <li>・9件もの相談があり、多重債務の相談の必要性を感じた。</li> <li>・弁護士の対応を直接見ることができ、勉強になった。</li> <li>・市として、専門家を入れた相談会を増やしたい。</li> <li>・相談会は、午後の方が利用しやすそうだ。</li> </ul>
福井県	今回の相談会は相談員の研修も兼ねていたが、結果的に専門家の助言をかみくだいて相談者に説明できた。また、専門家の助言ではあるが、債務整理方法が適当なのか相談員として疑問が生じた場合には、その時点で確認することもできたと報告を受けている
岐阜県	これまでも無料相談会を実施しているが、面接相談の需要が高く、電話相談件数は落ち着いてきている。これに伴う相談スペースの確保が課題。
静岡県	<p>(県実施分について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弁護士会、司法書士会の全面的な協力を得ることができ、特段のトラブルなく運営することができた。</li> <li>・事前には弁護士、司法書士の張り付けが過剰かと思われたが、県実施分は結果的にほぼ満員となり、予想を上回る需要であった。</li> <li>・県と市町が連携して相談会を開催したことで、市町の主体的な取組を促すことができたと思われる。</li> <li>・弁護士、司法書士のボランティアによる協力について、今回の相談ウィークに限らず、今後も国から日弁連、日司連に対して協力要請をお願いしたい。</li> </ul> <p>(市町実施分について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談をするとどんなメリットがあるのかを具体的な事例をまじえて示したチラシを町内会・自治会の組回覧にしたところ、40名募集のところ2倍程度の申し込み・問い合わせがあった。</li> </ul>

- ・勇気を出して相談の申し込みをしても、当日無断でキャンセルする人が何人かいた。そのような人たちへのいい手立てがあれば教えていただきたい。
- ・相談の前処理をして、改めて多重債務者へのカウンセリングの必要性を感じた。
- ・西部県民生活センターが、相談ウィーク中の月から金曜日の平日に相談会を行ったため、それを補完する意味で土曜日に開催したが、定員に満たず、周知期間・方法も含め再度検討の余地があると感じた。
- ・派遣された弁護士が、サラ金業者の顧問弁護士を務めており、相談者と利益相反になり受付が混乱した。今後も同様の相談会を予定するのなら、弁護士・司法書士の身分確認を行ったうえ派遣をお願いいたします。
- ・今後も、このような無料相談会を、実施してほしい。
- ・取立てが厳しい等で一刻も早く相談したいという方や、相談日まで待てず弁護士会のクレ・サラ相談を教えて欲しいという希望者が多く、前日にならないと予約が入らなかった。
- ・今後も無料相談会を継続して行っていただくことを希望します。
- ・法律専門家の対応を間近で拝見し、参考になった。
- ・相談マニュアルを作成する上で重要な点を改めて確認することが出来た。
- ・今回、多重債務特設相談として開催したが、多重債務ではない、借金の相談もあった。特設相談とするならば、「多重債務」の言葉の概念を開催時にPRする必要があったと考える。相談者に借金整理の道筋がみえたならば、開催の価値があった。
- ・相談会では、司法書士・弁護士が借金を始めたきっかけを丁寧に聞き取っており、その作業が整理後の生活の立て直しにとっても役立つことを知りました。相談現場できっかけを聞くことは、プライバシーに踏み込むことではとためらいがありましたが、根本的な解決のためには必要と感じました。現実については厳しく、将来については見直しを伝え励ます姿勢は参考になりました。  
今回のように、弁護士会・司法書士会が動き、県でとりまとめていただく方法は相談会としてとても開催しやすく、多重債務者へも大きなきっかけを与えることができました。今後も、このような企画を希望します。
- ・予約制でなく、2日間の開催で相談者が自由に利用できるよう計画したが、結果的には、1日目の利用しかなく2日目は0人であった。今後の開催機会として、ウィークに集中の他、毎月1回程度開催できたら理想的と考えます。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、相談者がきたらすぐに個室へ入って相談を開始してしまった。相談者の中には緊張してしまい、聞きたいことや言いたいことを言えなくなってしまう方もいた。</li> <li>・センター相談員も助言や口添えが出来なかった。センター相談員が事前に聞き取りし、弁護士等と面談した方がスムーズに進むと思うので、次回はそうしたい。</li> <li>・多重債務者は多数いると思われるが、相談に来る人は少ない。</li> <li>・広報の仕方が難しい。また、小さな町だと住所地での相談を嫌がる人がいる。</li> <li>・事前相談に時間がかかり、今後、実施するには人的問題もある。</li> <li>・弁護士・司法書士の派遣について、市の費用負担がないので開催しやすい。</li> <li>・できれば11月1日号の広報誌へ掲載したいが、原稿締め切りが発行日の約1ヶ月前のため、もう少し早く詳細を決定しないと掲載できない。</li> <li>・日ごろ法律専門家と接する機会はないため、このような機会に繋がりができると、今後の消費者行政を担当する上で役立つと思われる。</li> <li>・知り合いの多い地域柄であり相談に来にくいという現状がある。相談場所の配慮も必要である。</li> <li>・他機関での相談場所をもっと知らせて行ける体制づくりをしたい。</li> <li>・相談結果の把握をしたい。相談者の希望はどうか。</li> <li>・当町においては、年間2日無料法律相談を開催いたしております。1日は5万円1日は無報酬の法律相談を、日本司法支援センター・静岡地方事務所へ依頼しております。サラキン業者からの住所照会「住民票等」の請求が毎日何件となくあります。現実はかなり多重債務者がいると推測します。しかるに、極少数の相談状況である森町の広報として、全戸へ回る「かいらん」、全戸に配備されている同報無線により情報を提供しております。今後の広報は「無料法律相談」だけで進めたいと存じます。</li> <li>・1件も相談もなく終わりましたが、午前は担当課長、担当者、午後は消費者グループ会員4名が弁護士さんより多重債務問題等の講話を受け、有意義な一日でした。</li> </ul>
三重県	<p>当った弁護士、司法書士によって対応が異なることがあった。今後の業務の参考になったという感想が多かった。</p>

滋賀県	自治体相談担当職員が同席したことにより、多重債務相談に関する経験を積む良い機会となった。
京都府	別途、京都司法書士会において「クレジットサラ金ホットライン」を実施
兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・30分では相談時間が短いため、事前に弁護士に相談者の相談カード（相談内容資料を送って、事情を把握してもらっていた方がよかった。</li> <li>・弁護士による実際の法律相談を聞かせていただき、専門家の質問や回答が大変参考になった。</li> </ul>
奈良県	年度途中の国からの指示であったため、予算措置もない中で準備期間も短く、事務局となった県には負担感があった。全国統一の取組として指示されるのであれば、国にも財務事務所等を通じて応分の負担をお願いしたい。
島根県	事前に債権者一覧表を準備させること。
岡山県	金融庁からウィークのポスターを県以外にも金融機関等に直送していたが、事前に送付先等の内訳について連絡がないと実施予定の欄が空白のまま張り出される結果となった。
広島県	<p>相談会の周知が難しいと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター、チラシ、記者クラブ、県、市町広報誌、HPなどを活用したが、手ごたえは今一步だった。（1週間前に地元新聞に掲載してもらったところ予約が若干増えた）</li> <li>・しかし、相談会初日（12月14日（金））に昼前1回、夕方2回のテレビ放送紹介されたところ、翌日の電話相談及び飛び入りの面談相談が増加した。</li> <li>・テレビのニュースも1回だけでは見逃すことも多いため、機会を通じて全国ニュースでも数回流すことを検討してほしい。</li> </ul> <p>自治体相談員の研修としては、非常に有意義であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家の対応を間近で体験することができ、今後の業務に大変参考になったとの意見が多かった。</li> </ul> <p>弁護士、司法書士について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切羽詰った相談に対応するためには、専門家も経験と知識が必要である。そういう面で、専門家の対応もばらつきがあり、もう少し質の高い専門家が必要との感想が一部の相談員から寄せられた。</li> <li>・また、相談者は受任してもらえらると思って来たが、さらに次のステップが必要で費用も発生することもあり、若干違和</li> </ul>

	<p>感を感じる相談員もいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多重債務者向け相談会の位置づけを，弁護士会などともう少し詰めることが必要かもしれないと感じた。</li> </ul> <p>全体的な感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての開催で，周知等に若干の課題は残ったが，弁護士会，司法書士会の協力の下に実施することができ，大変有意義だった。</li> </ul>
徳島県	市町村職員の研修としても大きく寄与した。
愛媛県	<p>(1) 全体の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体としては、相談者にとっても職員にとっても、実りのある「相談会」だったと思う。</li> <li>・職員は、法律専門家と同席したことで、聴き取りの仕方と問題点の拾い出し方、各々に応じた解決策を導く流れが実感としてわかり、今後の参考になったと思われる。</li> <li>・相談者の債務整理だけでなく、生活態度の改善、生活再建にあたる機関の必要性を再認識した。</li> </ul> <p>(2) 改善すべき点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県としては、多様な媒体を使って周知を行った。しかし、国としては、ポスターの配布はあったが、相談ウィーク自体の広報が少なかったように思う。政府広報や新聞でも周知いただくなどしていただきたい。</li> </ul>
高知県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借金をしたきっかけとしては「低収入・収入の減少等」が最も多く、生活再建のための対策が必要であることなどから、市町村に相談窓口を設置することの重要性を再認識した。また、今後何らかの形で、休日に相談窓口を開設する必要性を感じた。</li> <li>・相談ウィークに関するマスコミへの情報提供を通じて、多重債務者支援団体の活動がテレビで取り上げられたことなどにより、多重債務問題は解決できることや相談窓口について、一定周知を図ることができた。一方、福祉や税の担当部署から今回の相談会に紹介・誘導されるケースもあったが、今後、知らせるべき県民に対して必要な情報を周知する方法の検討や、関係機関との一層の連携強化が必要であると感じた。</li> </ul>
佐賀県	相談者が確実に債務整理を行うよう、相談会で対応した弁護士、司法書士による直接受任を可として実施しましたが、処理内容が弁護士、司法書士によって異なる場合や、受任する場合の条件（着手金、成功報酬など）がまちまちなど、相談者

	に不公正がある場合が見受けられた。行政が関与する以上、相談者にとって公平な処理が行える保証が必要だと感じている。
宮崎県	相談時間については平均で30分程度
沖縄県	全国一斉多重債務者相談ウィークが議会の開会中のため、相談会の実施時期を各県にまかせていただけるとありがたい。